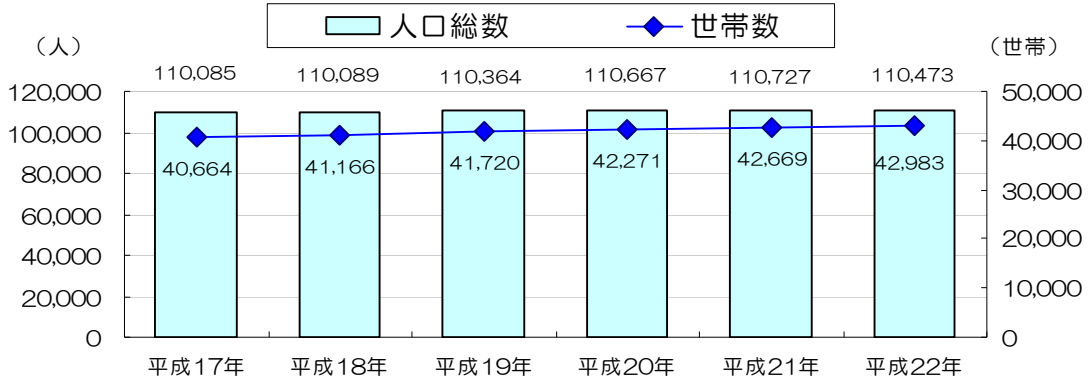


## Ⅱ 丸亀市の健康状況

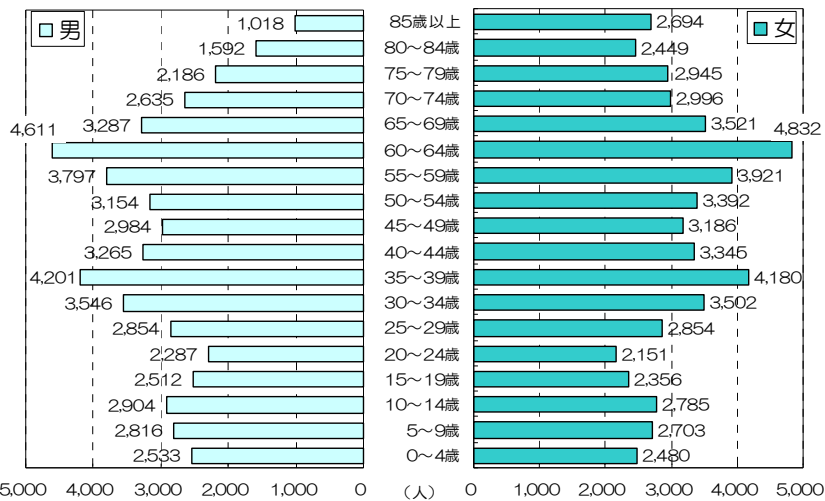
# 1. 人口構造

## ■人口総数、世帯数の推移(平成 22 年国勢調査)



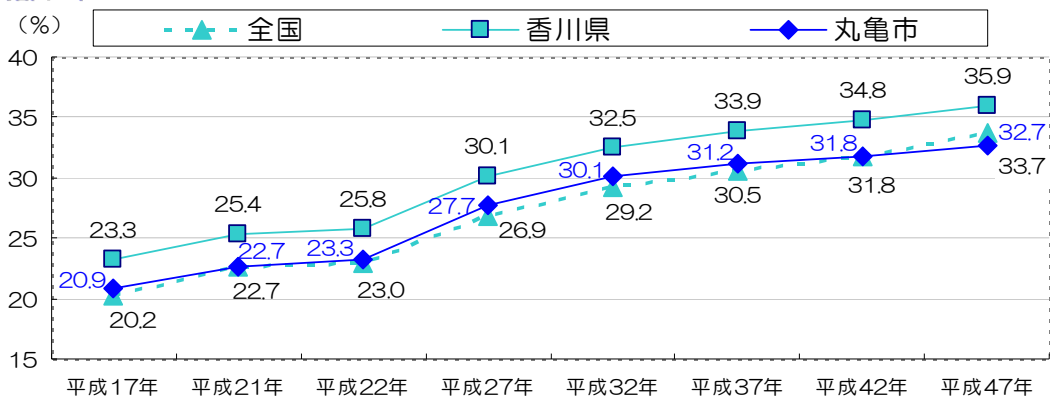
人口総数、世帯数ともに平成 17 年より、ほぼ横ばいの状態にあります。

## ■年齢別人口構成(平成 22 年国勢調査)



「30 歳～39 歳」「55 歳～64 歳」の階層で大幅な人口増加が見られます。

## ■高齢化率

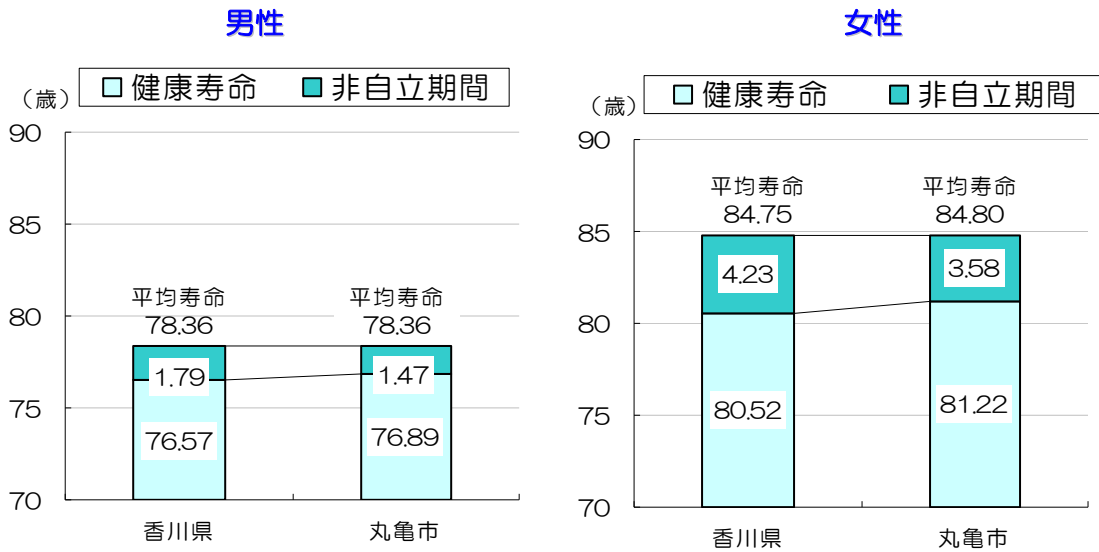


平成 37 年の推計まで、香川県より低く、全国よりやや高い水準で高齢化が進んでいます。

※平成 27 年以降は将来推計の値です。



■健康寿命(平成 19 年)



平均寿命では香川県の数値とほぼ同じですが、健康寿命は県よりも高い数値となっています。

■各種人口動態(平成 20 年)(人口千対)

	丸亀市	香川県	全国
出生率	9.8	8.6	8.7
死亡率	9.9	10.6	9.1
乳児死亡率	0.9	2.6	2.6
新生児死亡率	0.9	0.9	1.2
死産率	14.5	21.8	25.2
周産期死亡率	4.6	3.9	4.3
65歳未満粗死亡率	1.7	1.9	1.8
65歳未満粗死亡率 男性	2.3	2.6	2.5
65歳未満粗死亡率 女性	1.2	1.2	1.2

出生率は全国や香川県よりも高く、死亡率は県よりも低い状況です。また、乳児死亡率、新生児死亡率、死産率はいずれも全国や香川県よりも低くなっていますが、周産期死亡率は全国や香川県よりも高くなっています。65歳未満粗死亡率は全国や香川県よりも低くなっています。

I

II

III

IV

V

VI

VII



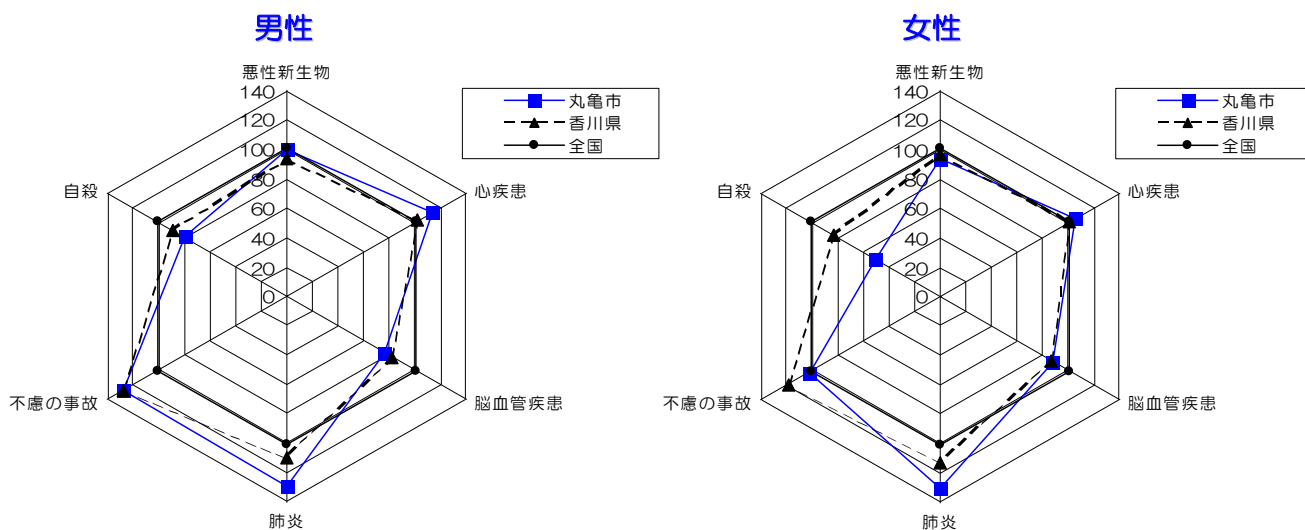
## 2. 死亡状況

■標準化死亡比(SMR 平成 15 年—平成 19 年平均)

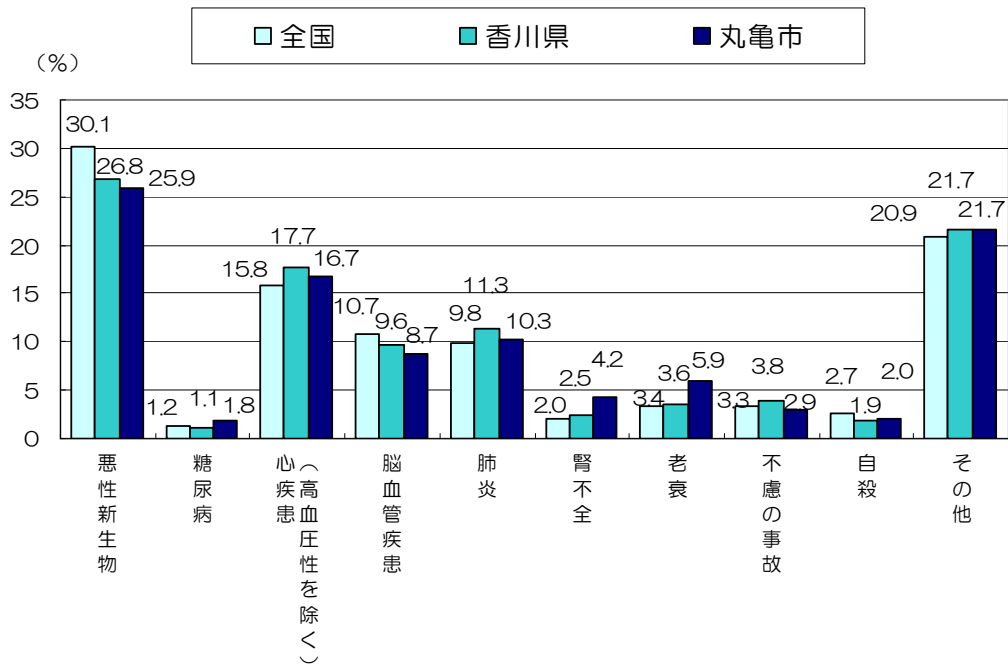
		丸亀市	香川県	全国
男性	悪性新生物	99.4	93.6	100.0
	心疾患	113.4	102.4	100.0
	脳血管疾患	76.1	82.4	100.0
	肺炎	129.1	109.5	100.0
	腎不全	116.0	110.2	100.0
	不慮の事故	127.7	127.4	100.0
	自殺	80.4	89.5	100.0
女性	悪性新生物	93.2	96.5	100.0
	心疾患	105.7	100.2	100.0
	脳血管疾患	87.9	87.1	100.0
	肺炎	130.1	112.5	100.0
	腎不全	131.0	120.3	100.0
	不慮の事故	102.1	118.4	100.0
	自殺	51.0	83.3	100.0

男性、女性ともに「肺炎」「心疾患」「腎不全」では、全国、香川県より高く、「自殺」については低くなっています。

女性の「悪性新生物」、男性の「脳血管疾患」「自殺」では、全国、香川県よりも低くなっています。

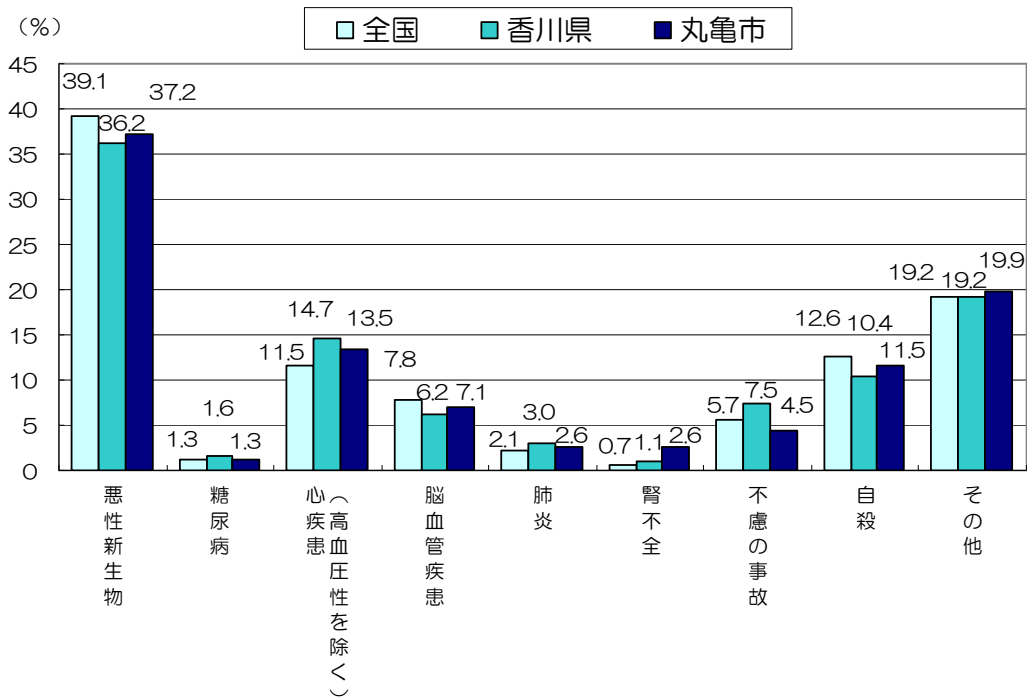


■主な死因別死亡(平成 21 年)



「悪性新生物」の割合が最も多くなっていますが、全国や香川県と比較してはやや低い数値となっています。次いで、「心疾患」が多く、全国よりも高い数値となっています。割合は少ないですが、「糖尿病」「腎不全」「老衰」が全国や香川県よりも高い数値となっています。

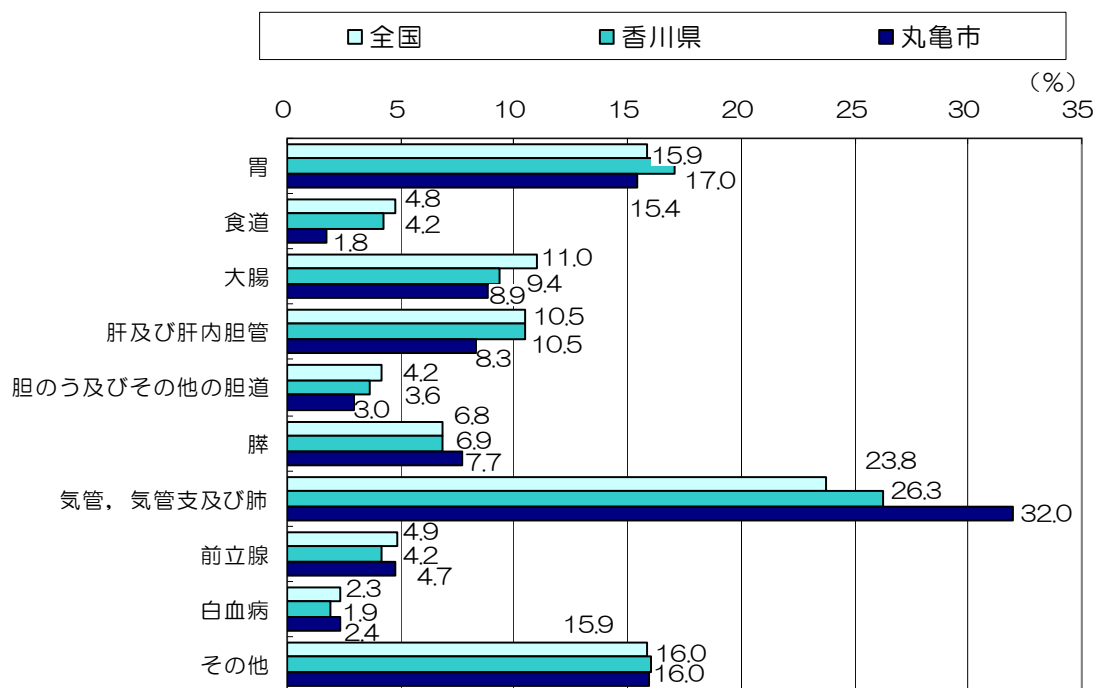
■65歳未満の主な死因別死亡(平成 21 年)



「悪性新生物」の割合が最も多く、香川県よりやや高い数値となっています。次いで、「心疾患」が多く、全国よりも高い数値となっています。割合は少ないですが、「腎不全」が全国や香川県よりも高い数値となっています。



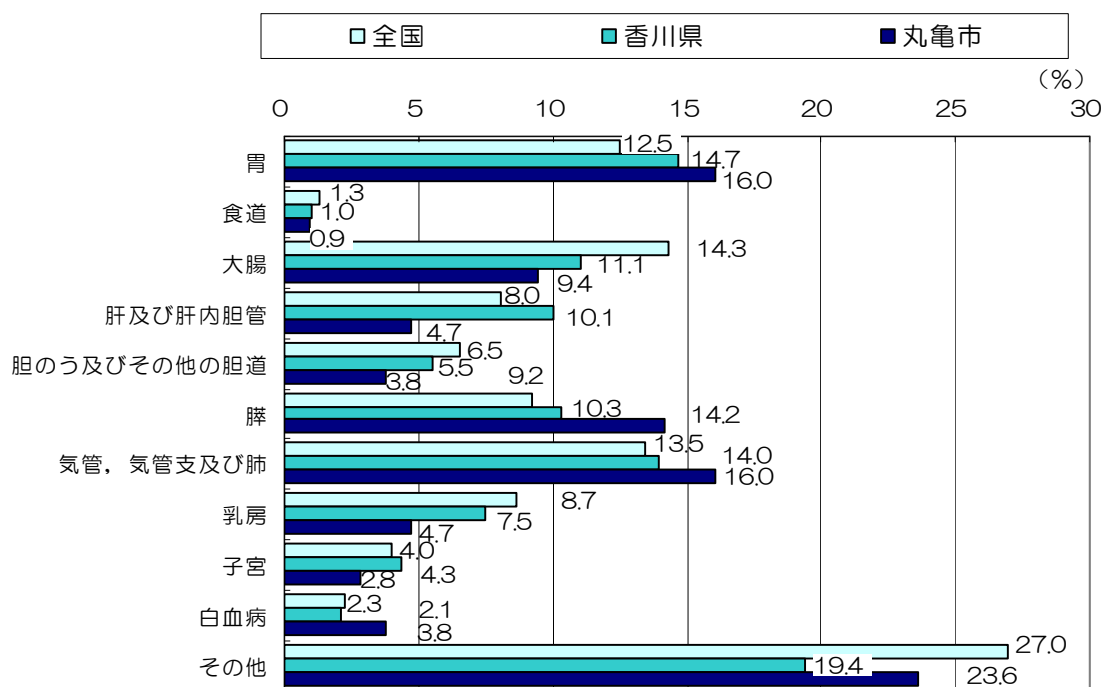
■がん死亡部位別「男性」(平成 21 年)



「気管、気管支及び肺」が最も多く、全国や香川県の数値よりも高くなっています。

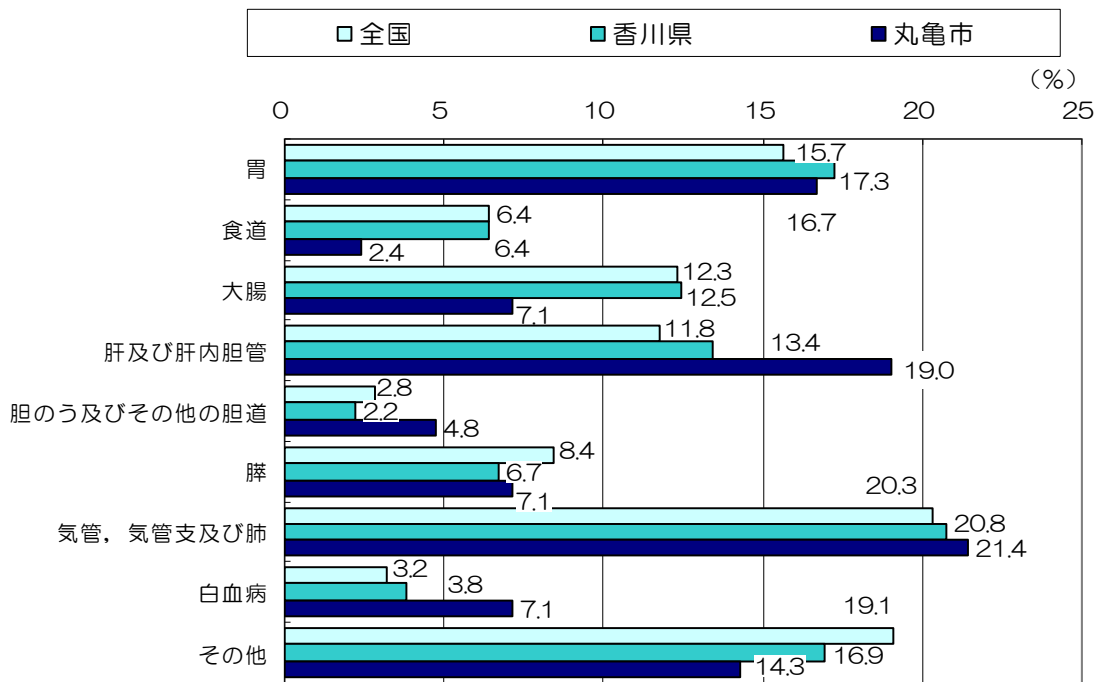


■がん死亡部位別「女性」(平成 21 年)



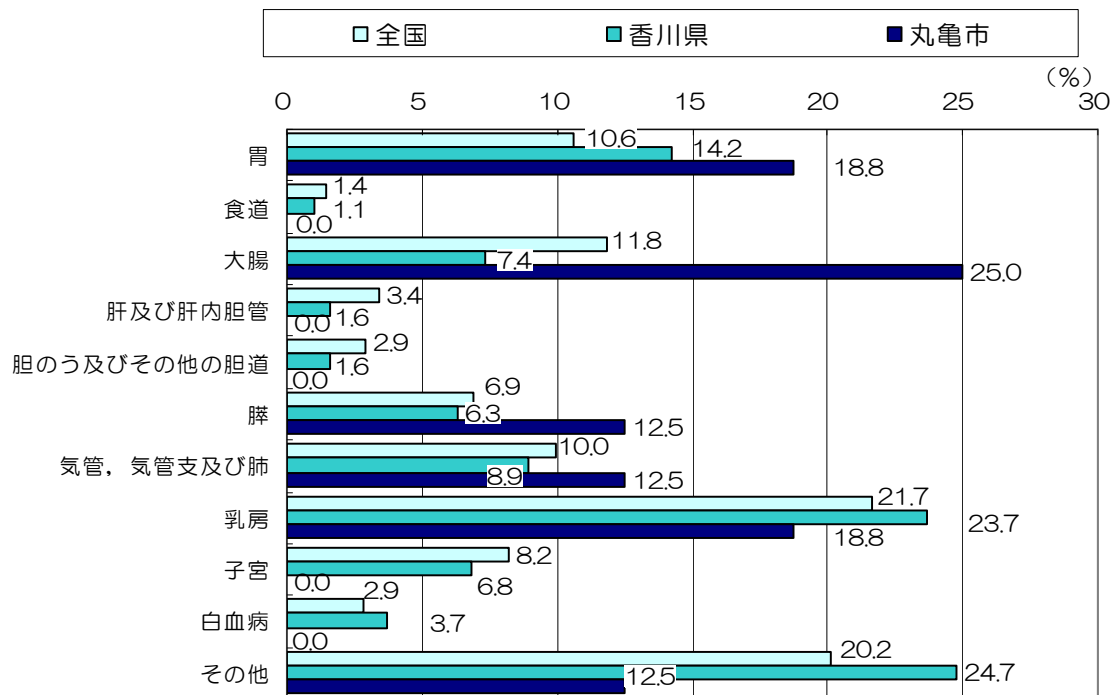
「胃」「気管、気管支及び肺」「膵」が多く、それぞれ全国や香川県の数値よりも高くなっています。

■がん死亡部位別 65歳未満「男性」(平成21年)



「気管、気管支及び肺」が最も多く、次いで「肝及び肝内胆管」となっており、いずれも全国、香川県の数値より高くなっています。

■がん死亡部位別 65歳未満「女性」(平成21年)



「胃」や「大腸」の割合が多く、それぞれ全国や香川県の数値よりも高くなっています。「膵」「気管、気管支および肺」では、割合は少ないですが、全国、香川県の数値より高くなっています。

I

II

III

IV

V

VI

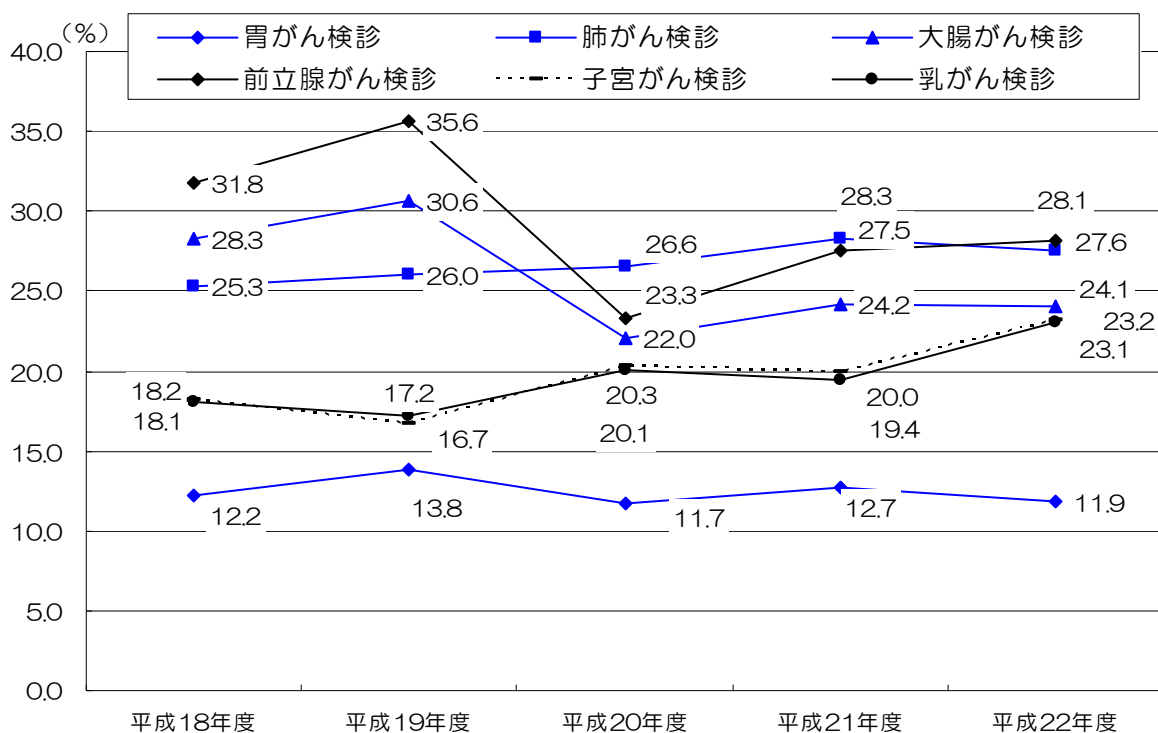
VII



### 3. 健診の状況

■各種がん検診受診率の推移(平成18年度～平成22年度)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
胃がん検診	12.2	13.8	11.7	12.7	11.9
肺がん検診	25.3	26.0	26.6	28.3	27.6
大腸がん検診	28.3	30.6	22.0	24.2	24.1
前立腺がん検診	31.8	35.6	23.3	27.5	28.1
子宮がん検診	18.2	17.2	20.3	20.0	23.2
乳がん検診	18.1	17.2	20.1	19.4	23.1



胃がん検診については、概ね横ばいで推移していますが、他のがん検診に比べ全体に低い受診率となっています。

肺がん検診については、概ね横ばいで推移しています。

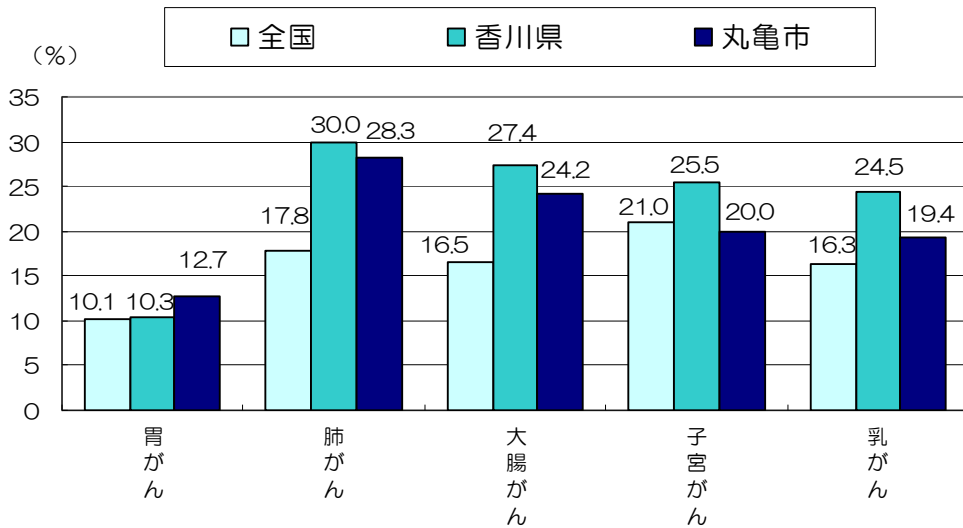
大腸がん検診、前立腺がん検診については、平成20年度に大きく減少し、その後緩やかに増加傾向で推移しています。

子宮がん検診、乳がん検診については、増加傾向で推移しています。





■各種がん検診受診率比較(平成 21 年度)



全国的に胃がん検診は、他のがん検診に比べやや低くなっています。

肺がん検診・大腸がん検診・乳がん検診では、全国より高いですが、香川県より低くなっています。また、子宮がん検診では全国、香川県より低くなっています。

■特定健康診査等実施状況(平成 20 年度～平成 22 年度)

医療保険者の種類別		市町村国保			全体(※1)
項目	年度	丸亀市	香川県	全国	全国
特定健康診査受診率	平成 20 年度	32.8	36.4	30.9	38.9
	平成 21 年度	33.2	36.7	31.4	41.3
	平成 22 年度	34.0	36.2	—	—
特定保健指導の対象者の割合	平成 20 年度	17.3	16.6	16.5	19.9
	平成 21 年度	15.0	15.5	15.3	18.9
	平成 22 年度	15.1	15.1	—	—
内臓脂肪症候群該当者割合	平成 20 年度	19.9	19.3	16.4	14.4
	平成 21 年度	18.0	19.4	16.0	14.4
	平成 22 年度	18.9	19.8	—	—
内臓脂肪症候群予備群者割合	平成 20 年度	12.0	11.5	12.0	12.4
	平成 21 年度	11.1	10.8	11.4	12.3
	平成 22 年度	10.3	10.1	—	—

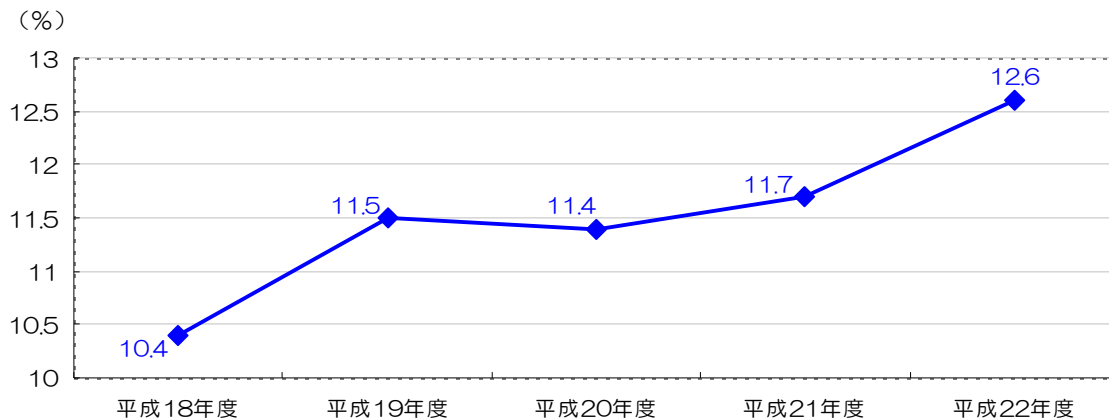
\*平成 22 年度の全国の数値は平成 24 年 3 月現在では公表されていません

特定健康診査受診率は、年々増加傾向にあるものの全国(全体)や香川県よりも低くなっています。また内臓脂肪症候群該当者割合は、香川県よりやや低いが全国より高い傾向にあります。

※1 医療保険者の種類には市町村国保の他に、全国健康保険協会、組合健保、共済組合等複数あり、後期高齢者医療制度を除く医療保険者全体が実施する特定健康診査の結果割合です。

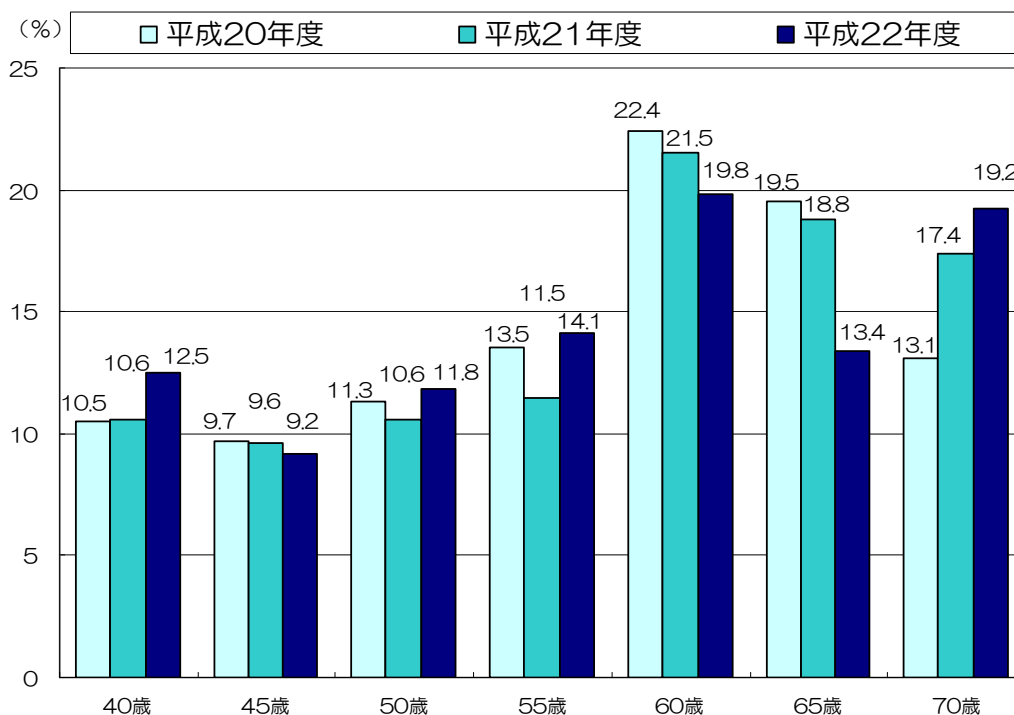


■ 歯周疾患検診受診率の推移(平成 18 年度～平成 22 年度)



平成 18 年度以降、概ね増加傾向で推移しています。

■ 年齢別歯周疾患検診受診率の推移(平成 20 年度～平成 22 年度)

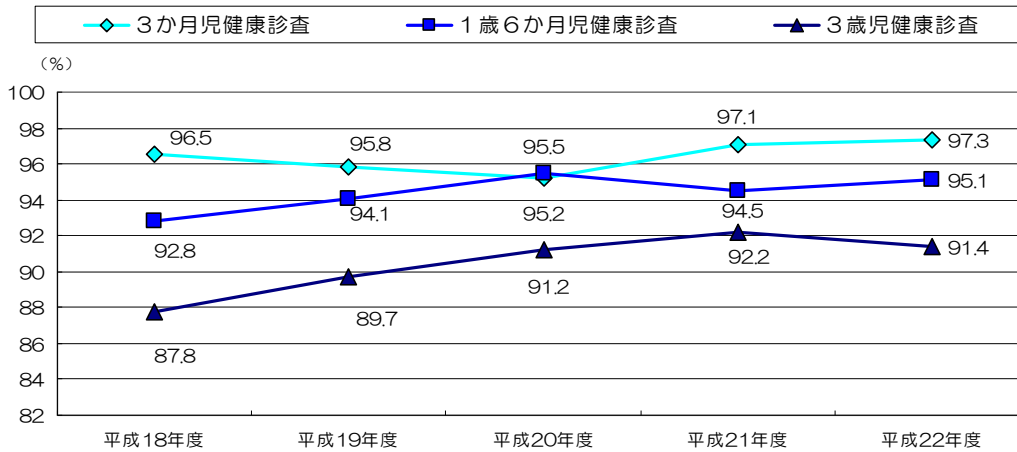


「60 歳」と「65 歳」の階層で、年々受診率が低くなる傾向があり、「70 歳」の階層では逆に高くなる傾向があります。

全体に占める割合では、60 歳以降の占める割合が高い傾向にあります。



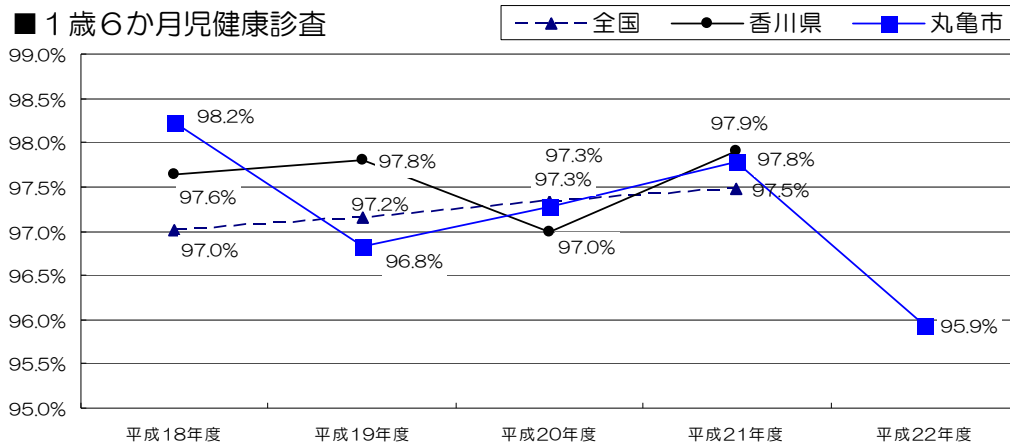
■各種乳幼児健康診査受診率の推移(平成18年度～平成22年度)



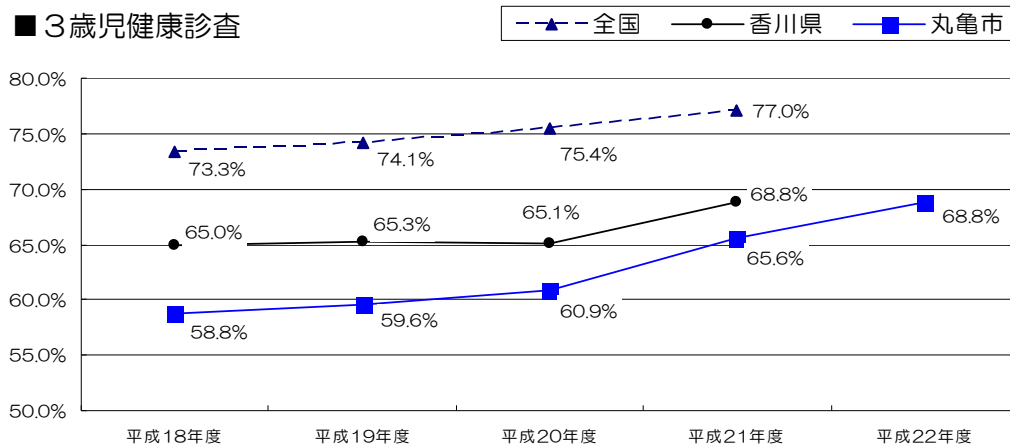
3か月児健康診査、3歳児健康診査については概ね増加傾向、1歳6か月児健康診査については横ばいで推移しており、ここ数年全ての健診において90%以上の受診率で推移しています。

■各種乳幼児歯科健康診査結果(う歯のない子どもの割合)(平成18年度～平成22年度)

■1歳6か月児健康診査



■3歳児健康診査



※う歯のない子どもとは、健診時に治療していない虫歯がない子どものことです。

う歯のない子どもは、1歳6か月児健康診査では年々減少し悪化傾向にあります。3歳児健康診査では年々増加傾向にあるものの、全国や香川県に比べると10%程度少ない状況です。

I

II

III

IV

V

VI

VII

